

■中国・日本：電池大手寧徳時代、ホンダとリチウム電池を共同開発

寧徳時代新能源科技股份有限公司（CATL）は2019年2月5日、本田技研工業株式会社（ホンダ）と共同で電気自動車（EV）用リチウムイオン電池を開発すると発表した。両社は、1回の充電で300km以上走行可能かつ低価格なリチウムイオン電池を開発し、ホンダ社製「FIT」クラスの小型EVに搭載する予定である。